



<第88回 ほほえみの会>

秋晴れの3連休中日「ほほえみの会」は「のぞみの会 静岡支部総会」と合同で開催し31人が参加、ミニバザーも開かれました。

「のぞみの会」のソーシャルワーカー樋口さんから

- ・ 昨年東京の亀戸に東京の病院に入院したときに家族が1泊1000円で泊まれる施設を作った
- ・ 各地でイベント
- ・ がんの子供に関する本を2冊作っているので誰でも希望者には無料で送る

といった活動報告がありました。

また「のぞみの会 静岡支部」の十亀さんからは

- ・ 県立がんセンターの小児科設置が「ほほえみの会」などと共に働きかけて実現できた
- ・ 沼津にのぞみの会の支部が出来る予定

といった静岡での活動報告がありました。

そして、静岡骨髄バンクを推進する会 副会長 吉岡忍さんと闘病して元気な若者の会 Peer 会長 藤田恵子さんの講演がありました。

▽吉岡さんの講演

昭和61年に奥様が急性骨髄性白血病で亡くなる。その時「骨髄移植をしたら助かったかもしれない」と言われたのが心に引っかかり骨髄バンクの活動に参加。当時バンク登録者は65人。10年たった今県内で4000人。しかし必要とされる登録者は全国で30万人必要。今、献血会場で登録が出来ないか検討中だが、ちゃんと理解して登録をしていただかないといけない。ドナーの安全性の確保が問題で内容が分かってくると辞退する人が多くでてきている。

臍帯血バンクも全国に9つ出来た。現在数万集まっているが20万が目標。本人用にとっておくプライベートバンクも出来ているが保存管理や必要なときに使えるかなど問題も多い。

自分の信念としていつ家族が病気になるか分からず、人ごとと思わず活動を続けている。

▽藤田さん講演

平成5年中学2年で悪性リンパ腫発病。1年半入退院。静岡中央高校入学。現在は常葉学園医療専門学校4年生。

病気になったときの1番の夢は学校に行きたいということだった。が、中学の友達一人一人が手紙をくれたり、席も用意してくれていた。さらに月に1回は担任の先生が来てくれて状況をみんなに説明をしてくれていて励みになった。学校に戻ったときは車椅子で髪の毛もなかったので病気のことを自分から話したが皆自然に暖かく迎えてくれた。

中央高校は単位制の学校で体力がなく4年間通った。夜の講座もあり先生と1対1でよく教えてもらえて良かった。

また入院中は父親と交換日記をしていた。

今、作業療法士の勉強をしている。患者さんの苦しみは分かるが針を刺す仕事はイヤ。実習をして体力のなさに気持ちが沈むこともあるが頑張っている仲間がいると思うと励みになる。

病気は不幸だったかもしれないが多くの人に出会えたことや自分自身が変わったことは良かった。

| 次回は 11月10日(日) 11時からです |

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス klikeda@mx1.s-cnet.ne.jp

ホームページ再開しました <http://homepage3.nifty.com/hohoemi/>